

1	会議名	令和7年第7回教育委員会会議 会議録	
2	開催日時	令和7年6月25(水) 午前10時00分～午前10時50分	
3	開催場所	岩国市民文化会館 第1研修室	
4	出席委員	教育長 守山 敏晴 委員 村尾 利勝、渡邊 博明、岡崎 陽子	
5	欠席委員	委員 岡田 淳子	
6	会議出席者	教育次長 : 賀屋 和夫 教育政策課長 : 村重 武志 教育政策課 英語教育推進室長 : 藤本 佐祐里 学校教育課長 : 五郎丸 哲也 学校教育課主幹 : 松本 哲也 青少年課長 教育センター所長兼務 : 植田 明男 生涯学習課長 中央公民館長兼務 : 河本 葉子 中央図書館長 : 藤中 朗子 科学センター館長 : 大黒屋 誠 由宇支所長 : 山本 英裕 周東支所長 : 中村 洋一 錦支所長 : 常国 良徳 美和支所長 : 藤中 峰雄	
7	会議従事職員	教育政策課 : 山本 祥寛、廣本 菜穂美	
8	会議録署名委員	村尾 利勝、渡邊 博明	
9	議事日程		
	日程第1	会議録署名委員の指名について	
	日程第2	報告第10号	所管事項について
	会議の概要 教育長	・ただいまから、令和7年第7回岩国市教育委員会会議を開会します。 なお、岡田委員より、本日所用のため欠席の届け出がありましたので、御報告します。 ・それでは、日程第1会議録署名委員の指名を行います。本日の会議録署名委員は、村尾委員と渡邊委員にお願いします。 ・本日の議題は、お手元に配布した資料のとおりとなります。 ・それでは、日程第2「報告第10号 所管事項について」を議題といたします。これにつきましては、協議会形式で進めたいと思います。各担当部署から先に配布しております行事予定表について、補足又は所管事項に関する懸案事項があれば説明をお願いします。	
	由宇支所長	・5月19日(月)に開催されました第1回由宇・モア・大学は昨年に引き続き、由宇亭拓の輔の芸名で幅広く活躍されている塚田拓司さんをお招きして落語会を開催しました。111人の参加があり大変好評でした。由宇・モア・大学の会員数も121人となり、当日78人が新たに会員登録をされました。塚田講師は、落語と講演をセットにして笑いの中から生徒指導や人権教育等の大切さを各地に広めることに尽力されています。	
	周東支所長	・5月21日(水)に開催されました第2回玖珂まち生涯大学「新緑コンサ	

	ート～音楽と遊ぼう♪」はサックスプレイヤーの山本恭子さんとピアニストの渡部千秋さんを講師にお招きしました。通常は会員のみの参加となっていますが、生の演奏を聴けるせっかくの機会ですので玖珂幼稚園の園児と関係者にも声をかけさせていただき、合計 103 人の参加がありました。参加者からは、「癒された」、「音楽に合わせて体を動かし良い気分だった」、「子供とふれ合って活力をもらえた」等の感想をいただき、大変好評でした。
錦支所長	・夏休みが始まりますので、通常の生涯学習活動に加えて小学生を対象とした行事を行う予定です。7 月は「錦の川遊び体験教室」、にしきドリームクラブによる「とんかち教室」を予定しています。8 月以降も子供たちが興味を持って参加してもらえようような講座を準備中です。
美和支所長	・本郷山村留学センターでは 5 月 4 日（日）に春の羅漢山遠足を実施しました。当日は晴天に恵まれ、留学センターの児童生徒 11 人とセンター職員が標高 1,109 メートルの山頂で楽しいひと時を過ごしました。 ・6 月 1 日には、山村留学センターに小学 6 年生の男児が 1 人入所し、現在 12 人となっております。
学校教育課長	・5 月の運動会では大変お世話になりました。順延ながらも予定通り開催はできました。今年も中学生が小学校の運動会にボランティアとして参加してくれて、小中一貫教育、校区のまとまりをもって開催できたと思う反面、雨によるグランドの状態にずいぶん差があり、真砂土を盛っただけでは解決できないなど、運営に苦労した学校もあったようです。他市では順延の場合は翌週とするなどして対応しているところもあるようですが、子供のモチベーション維持が難しい側面もあり、施設改善の面と運営面で課題が見えてきたと感じています。 ・7 月 29 日（火）には岩国市英語授業力向上研修として、今年も直山先生にお越しいただき、英語の授業力向上のため研鑽を深めていきたいと考えております。
青少年課長	・7 月は夏休みに入り、市内小中教職員の夏季研修講座も始まってまいります。 ・5 月 21 日（水）に開催されました不登校の子供を持つ保護者の会、「第 1 回ファミリーピアサロン・つなぐ」の参加者は保護者 9 人でした。年度当初ということもあり、前回と比べると参加者は少なかったように思います。参加された保護者の方々には好評で、次回も参加したいという声もいただいています。次回からは企画運営の段階から協力してくださる保護者が 9 人のうち 4 人おられ、先日 1 回目の準備委員会をセンターで行い、次回の運営について話し合ったところです。次回は 8 月 25 日（月）を予定しています。
生涯学習課長	・花いっぱいコンクールについて御説明します。今年度は実施時期を見直して初めての開催となりましたが、学校の部は小学校 15 校・中学校 6 校の

中央図書館長	合計 21 校、団体の部は 7 団体の応募がありました。結果につきましては、明日 26 日（木）に報道通知をして公表予定です。写真展は 7 月 4 日（金）から 16 日（水）まで中央図書館で行い、表彰式は 9 日（水）に岩国市民文化会館で開催する予定です。 - 中央公民館では、夏休みに向けて各地区公民館や分館で小学生を対象とした講座を計画しています。7 月 19 日（土）に中央公民館と分館が合同で開催する夏休みキッズフェスタは、今年度で 2 回目となり、色々なモノづくりや体験ブースを楽しんでいただける企画になっています。今年は合併 20 周年記念としてハクジャオーショーも開催予定ですので、是非お越しください。 5 月 11 日（日）「こどもの読書週間」のイベントですが、ホンスキーのぬりえはたくさんの子供が参加してくれまして、色とりどりの洋服を着たホンスキーが中央図書館展示ホールの壁一面に並びました。岩国市図書館ホームページ「図書館ひとコマ」でその模様を紹介しておりますので、ぜひ御覧ください。
科学センター館長	5 月 11 日（日）と 25 日（日）に科学センター職員による科学教室「君も科学者 DNA を取り出せ！」を実施しました。遺伝の話をした後に、食塩などを使って DNA 抽出液を作り、ビーカーを使ってブロッコリーの DNA を取り出す実験をしたのですが、皆上手く取り出せている様子でした。25 日は 3 回実施していますが、この日の午前中は雨で順延された小学校の運動会と重なったため、急遽午後の部を追加し午前の部に参加できなかった子供たちに対応しましたので、全員参加できています。 7 月 15 日（火）から 20 日（日）にかけて、毎年恒例のスズムシの配布を予定しています。例年、配布期間は 2 日間でしたが、今年度は子供や遠方の方も受け取りやすいように、土日を含めて配布期間を 6 日間に増やし対応予定です。
教育政策課長	5 月 28 日（水）の Morning Coffee Job Fair について御紹介します。この企画は「基地の中で働いてみたい」、「英語力を生かして仕事がしたい」、「グローバルな職場で働いてみたい」、「育児を終えて岩国で復職をしたい」、そんな思いを持たれている方を対象に、今回 P L A T A B C で初のジョブ・フェアとして開催しました。開催にあたっては、在日米軍施設で働く労働者の雇入れ等を含めた労務管理等の業務を行っている「独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構（通称エルモ）」と連携しています。今回は 24 人の方が参加され、そのうち 30 代 40 代の主婦の方が約 7 割を占めました。ジョブ・フェアでは、参加した方から「岩国基地にはどんな仕事や職業があるのか？」、「そこで働くためにはどのくらい英語力が必要なのか？」、「職場にはどんな福利厚生があるのか？」などの様々な質問があり、エルモ職員が丁寧に答えてくれました。イベント後のアンケートでは、「次回は実際に基地で働いている人と話がしたい」、「今後も同様のイ

	ベントを開催してほしい」などの意見をいただきました。今後も「英語のまち いわくに」の実現に向け、エルモなどの関係機関と連携し、今回のような就労支援も含めた様々な取組を行っていきたいと思います。 ・もう1つ御紹介です。チラシもおつけしていますが、イングリッシュ・チャレンジについてです。例年小中学生を対象にイングリッシュ・キャンプとしてイベントを実施しておりましたが、今年度からイングリッシュ・チャレンジと名称を変更しました。小学生と中学生が別々に、それぞれのレベルに合わせて実施することとしています。開催場所は今年度もP L A T A B Cだけではなく、美和、周東、由宇地域など、地域に出向いて実施する予定としています。
教育長 村尾委員	・全体を通しまして、御意見・御質問がございましたらお願いします。 ・中央図書館の岩国市合併20周年記念講演で、勝丸恭子さんには気象の話をしてもらうのですか。
中央図書館長	・防災士の資格も持っておられるので、気象と防災の話を合わせてお話しいただきます。大変人気で、申し込み開始当日の午前中で定員いっぱいになりました。
村尾委員	・英語教育推進室にお尋ねします。7月5日（土）のイングリッシュブートキャンプについて、上級者と初級者を分けて開催されるようですが上級者と初級者を分ける基準は何ですか。
英語教育推進室長	・初級者は英検5級から準2級・TOEIC 785点以下、上級者は英検2級以上でTOEIC 790点以上を目安にしています。
村尾委員	・英検で判断されているんですね。現在、英検を受ける一般の人はあまりいないのではありませんか。一般の大人が参加したいと思った時に、皆さん、初級の扱いになりませんか。TOEICにしても、わざわざ受験しないといけなくなります。
教育政策課長	・資格の提示を要求するわけではなく、力を図る目安としてお示ししています。
村尾委員	・自己判断で良いということですね。分かりました。 ・次に学校教育課にお尋ねします。私も5月の運動会に参加しましたが、どうも盛り上がりには欠けていると感じました。採点板もなく、優勝旗の返還もない。また、徒競走をして順位がついても採点として反映されない。午前中で終了するため、出場回数も以前の運動会と比べて少なくなっているのではないかと思います。団体の所属意識であるとか、自分が頑張って得点をとったという貢献度とか、昔ながらの良さも引き継いでいければ良いと思うのですが、いかがでしょうか。
教育長 岡崎委員	・村尾委員以外の委員はどのように感じられましたか。 ・私の参加した学校では、保護者の負担を減らそうとしているのか、早く終わらせようというか、片付けや準備など、さくさく進んでいるなと感じました。

教育長 岡崎委員	・採点等はどうでしたか。 ・採点はあったと思います。走るのが好きな子供は負けて泣いている姿も見たりしました。緊張感については昔ほどではなくなっているかとは思いますが、仕方ないのかなとも思います。
渡邊委員	・私は雨天順延で参加できなかったのですが、保護者に聞いてみるとお弁当と一緒に食べたいという声もありました。開催日や時間については校長園長会議で調整され決まっているかと思いますが、P T Aや育友会の声を吸い上げる前段階があってから会議で決定するようになると良いなと思います。
学校教育課長	・川下中学校などでは始めておられますが、周りの中学校でも体育祭を午後も開催することについて、若手の体育教員から校長先生へ申し入れはあるようです。校長先生は、生徒の声、体育委員長等から声が上がるようであれば試してみてもはどうだろうかと回答しているそうです。今、部活の地域移行についても少しずつ動いてきて、中学1年生の部活加入率が下がりつつある中、所属意識や程よい競争心の育成の場として、運動会や体育祭の持つ意味は大事になってくると考えています。岩国市は小中一貫教育なので、9年間を見据えて子供たちが身に付けるべき力を定め、その上で運動会から体育祭へのつながりなども含め、学校運営協議会やP T Aを交えてしっかり議論、改善していければと思います。
村尾委員	・保護者のイメージも含めて代弁したのですが、去年までは採点もしていたと思うんです。今年は紅白の優勝旗返還もなければ採点板もなく、これは運動会なのだろうか？という印象を受けました。運動会の趣旨は何なのか。学校は、学校運営協議会やP T A、子供の意見も含めて今後の在り方をもう少し考えてほしいと思います。 ・ステップアップルームについて、今、非常に充実していると聞いて見学に行きました。一人一人にブースが設けられて個別に学習ができるようになっており、共同テーブルで作業も可能。環境的には非常に良いと思いました。また、見学に行ったときはテスト中でしたが、別室できちんと受けている様子が見られました。個人の志向性が大切にされている印象を受けましたし、こうしたやり方が充実していけば良いと思います。当然、中央支援教室でも、ベテランの先生が今までの経験を生かしながら指導しておられますので、ステップアップルームと併せて対応すると不登校もかなり減少すると思うのですが、どうでしょうか。
青少年課長	・教室には入れないが、学校の門をくぐることに抵抗のない子供たちには、ステップアップルームや学校が独自に設けている校内の支援センターの重要性は高いと認識しています。一方で学校の門をくぐるのが難しい子供たちについては、支援教室がその子供たちにとっての居場所になれば良いと思っています。ただ、支援教室に通室する場合にはどうしても送迎の問題等が出てきます。職員が家庭訪問をして登校への呼びかけを行う、本人

村尾委員	は支援教室へ行きたいが送迎が難しい場合には保護者の了承を得て職員が送迎するなど、試験的にやってみようとしているところです。 ・文部科学省が不登校者数の減少を目的に加配を増やしてくれていますので、有効に活用しながら、不登校の減少のために真剣にやっていかなければいけません。岩国市も減少傾向にあると聞いていますので、引き続きよろしくお願いします。
渡邊委員	・ファミリーピアサロンの報告書は、各学校にフィードバックされていますか。
青少年課長	・本日お配りした報告書に写真をつけて各学校にお送りしています。
渡邊委員	・共有がきちんとできればさらに良い取組になると思います。ただ、不登校児童生徒の中には、完全に保護者から放任されている子供もいると思います。そういった家庭は心の支援員さんがサポートしてくださっていますが、子供が家に1人でいるところに1日に何度か会いに行くけどなかなか会えないケースもあると聞いたことがあります。そういった子供たちについても何か良い策があればと思っています。 ・米軍基地にあるペリースクールが6月から夏休みに入って8月いっぱいまでお休みです。本国に帰らず、岩国に残る家庭の中には、その間、岩国の小学校に通いたいという子供もいるらしいのですが、受け入れ態勢が整っていないという話を聞いたことがあります。今年度は難しいでしょうが、来年度、P L A T A B C等とも連携して、なんとか小学生同士の交流ができないものかと思います。日本語が話せない子供が多いとは思いますが、そうした交流ができれば岩国ならではの学校教育になると思いますので、なんとかならないかと感じています。
岡崎委員	・青少年課にお尋ねします。先ほど、ファミリーピアサロンの報告書について学校にはフィードバック済みとお聞きしましたが、もう少し、話している内容等について詳しく分かったら、どういうことをしている場所なのか分かるし、参加を迷っている方の不安も減るのかなと思いました。こうした場に足を運ぶのが苦手な方もいると思います。活動自体はとても素晴らしいことなので、困っている人の周りがさらに暗くならないように、並行してそのあたりも見えていただければ安心かと思います。
青少年課長	・今回の報告書は、親としての苦悩や混乱の中で、学校として良かれと思ってしていたアプローチが保護者にとっては苦しい部分もあった、というような本音も見え隠れしています。そうしたものを学校側に共有することで保護者の思いを知ってほしいと思っています。また、今回参加いただいた方の中には運営に携わって会を支える側になってくださる方もおられますので、この会に参加することの意義や良さを口コミで広げていただけたらという思いもあります。参加することにハードルを感じる方もおられると思いますが、口コミなどを通じて前向きなイメージを感じていただけたらと考えています。

岡崎委員	・学校から保護者への連絡手段は各学校によって違いますか。メールだと見落としてしまうこともありますし、小中学校で違う手段だと不便なので、アプリなどで統一できないものかと思います。
渡邊委員	・青少年課にお尋ねです。街かど a p とはなんですか。
青少年課長	・こども家庭課が今年度から社会福祉法人はるかに子供の居場所づくりとして委託している事業です。岩国駅前にある交番の裏のビルの一室を子供の居場所として提供しており、利用料は無料です。子供が気軽に立ち寄って過ごすことができる場所として運営しています。
渡邊委員	・こども食堂と連携していますか。
青少年課長	・こども食堂とは連携していなかったと思います。
教育長	・別にないようでしたら、報告第 10 号を終わります。 ・本日の議題は以上でございます。それでは次回の教育委員会会議の日程について事務局からお願いします。
教育政策課長	・次回の定例会は令和 7 年 7 月 23 日（水）岩国市役所 2 階特別会議室において 9 時 30 分から所属長会議を、10 時から教育委員会会議を開催いたします。
教育長	・以上を持ちまして、令和 7 年第 7 回教育委員会会議を終了します。

岩国市教育委員会会議規則第 16 条の規定により署名する。

教育長 守山 敏晴

教育委員 村尾 利勝

教育委員 渡邊 博明